

生きている肌と自然治癒力

スキンケアの役割は肌本来の力(自然治癒力)です。基礎化粧品の役割は限定的でなければなりません。

全ての生物が持っている生命基本原理は、崩壊・損傷・破壊が起こると、自身でそれを修復する(自然治癒力)ことができるということです。これが生命と非生命の間の根本的な相違です。

肌は間違いなく生命系であります。肌は自らダメージを修復し、美しい肌を維持することができるのです。眠っている間(最も活動が活発になるのは、午後10時から午前2時の4時間)に、絶えず新しい細胞が作りだされ肌を生まれ変わらせ、また水分や皮脂を適度に分泌し、日々新たな弱酸性の角質層や皮脂膜を形成しています。翌日、様々な外部刺激から肌・身体を守るためにです。

本来健康な肌の場合、洗顔後何もつけなくても、肌がつっぱる、なんだかかゆい、カサカサすることはありません。これら累積性皮膚炎(敏感乾燥肌)と呼ばれる症状がある場合は、合成界面活性剤や多量の油脂が配合された洗顔剤・化粧水・保湿液などを使ったスキンケアを繰り返し行うことで、肌バリア(皮脂膜や細胞間脂質)が取り除かれ、肌自らバリアを形成できないことが原因です。

バリアが低下すると紫外線・細菌などの影響を受けやすく、特に皮膚内の酸素が活性酸素に変わりやすい肌環境になります。活性酸素は細胞の細胞膜を構成している脂質を酸化させ、炎症を起こします。累積性皮膚炎は化粧をしている女性の顔面に生じやすく、やっかいなのは本人がそのことに気づいていないことです。

気付かない理由は、肌がツツパツタ状態、なんだかかゆい、カサカサなどの症状(不快感)が、界面活性剤や抗炎症剤配合の化粧品、主として乳液・クリームなどを塗るとピタッと消えるからです。しかし、これは累積性皮膚炎の症状だけを取り去る・消す「治療:Cure」であり、累積性皮膚炎を改善するために必要な、低下した自然治癒力(累積性皮膚炎の原因)を高める「日常の手入れ:Care」ではありません。

症状だけを取り去る・消す『緊急避難の治療:Cure』を続けていると、いつまで経っても自力で「美しい肌にする」ことがほぼ不可能になるまで追い込まれていきます。そのため、化粧品を止められない一種の化学薬剤配合化粧品依存症になります。

海の森化粧品とは、肌が自力で「美しい肌にする」ことを期待できる自然化粧品です。海の森化粧品には、抗炎症成分・抗酸化成分やタイプ1のセラミドなどが含まれており、累積性皮膚炎や活性酸素の抑制に必要な肌環境を補強する働きや気を静める働きなどがあります。